

# みはま

▽ 議会だより

9月定例会

No.152

発行 平成29年11月1日  
編集 議会広報特別委員会

## 「学校訪問での 授業風景」 (H29.9.15 奥田小学校)



【 議員活動の一環として、教育委員会が行う各小中学校の訪問行事に参加しています。】

### Contents

議案審議	平成28年度一般会計決算認定 ほか	2～ 7P
一般質問	「ごみ減量化計画の今後は？」 はじめ 9人が質問	8～16P
特別委員会の活動紹介	議会広報・運動公園整備調査	17P
審議結果一覧・編集後記		18P

平成29年第3回

9月定例会

会期9月4日～20日

(審議議案の採決結果は18頁に一覧表を掲載)

※ 本会議の議事詳細は、11月下旬に町公式HPに定例会会議録を掲載予定です。

審議日程

- 4日 開会、提案 ・上程議案の提案説明  
(本会議終了後) 全員協議会〔議案説明会〕
- 5日 (休会) 全員協議会〔議案説明会〕
- 6日 町政に対する一般質問 1日目〔通告議員9人中6人登壇〕
- 8日 町政に対する一般質問 2日目〔通告議員9人中3人登壇〕  
※P8～16に掲載
- 12日 質疑・委員会審査付託
  - ・専決処分事項報告承認2件を承認
  - ・選任同意1件(教育委員会委員)に同意
  - ・条例制定・補正予算・決算認定議案を各常任委員会へ審査付託(12件) ※2件は両委員会へ分割付託
  - ・議員発議の意見書4件の提案・質疑
- 休会中 常任委員会開催
  - 13日 総務産業委員会 付託された7議案を審査・採決
  - 14日 文教厚生委員会 付託された7議案を審査・採決
  - 20日 委員長報告・討論・採決、閉会
    - ・閉会中の継続審査事件・議員派遣を定めて閉会

教育委員会教育委員の任命

全員賛成で同意

現教育委員のうち1名が、平成29年9月30日付けで任期満了するため提出された後任者の任命議案について、全員賛成により同意しました。任期は平成29年10月1日より4年間です。



新任 (切山在住) 齋藤 正吉さん

専決処分事項の報告承認

施設修繕・災害復旧のため緊急に執行するため専決処分された補正予算2件について、地方自治法の規定に基づき議会に報告があり、2議案とも全員賛成により承認しました。

① 一般会計補正予算

(専決第1号)

河和北保育所トイレ、野間小学校火災報知設備及び生涯学習センター研修室空調設備について、利用者の利便・防災機能維持のため、早急に修繕する必要があり、7月14日付専決処分により対応しました。

補正予算額は、55万2千円、

補正後の予算総額は73億409万3千円になりました。

② 一般会計補正予算

(専決第2号)

台風5号の影響により、西側海岸に漂着した大量の葦・流木などを早急に処分する必要があります。8月14日付

専決処分により対応しました。

補正予算額は県負担金250万円を含む499万9千円で、補正後の予算総額は73億909万2千円になりました。

専決処分事項の報告

損害賠償の額及び和解

去る6月21日に布土地区の町道で、大雨の冠水で段差に気付かず走行中の自動車の車輪内側が道路端と接触・損傷する事故が発生しました。

その損害賠償に関する示談が成立し、7月11日付で専決処分されたため、地方自治法の規定に基づき議会に報告がありました。

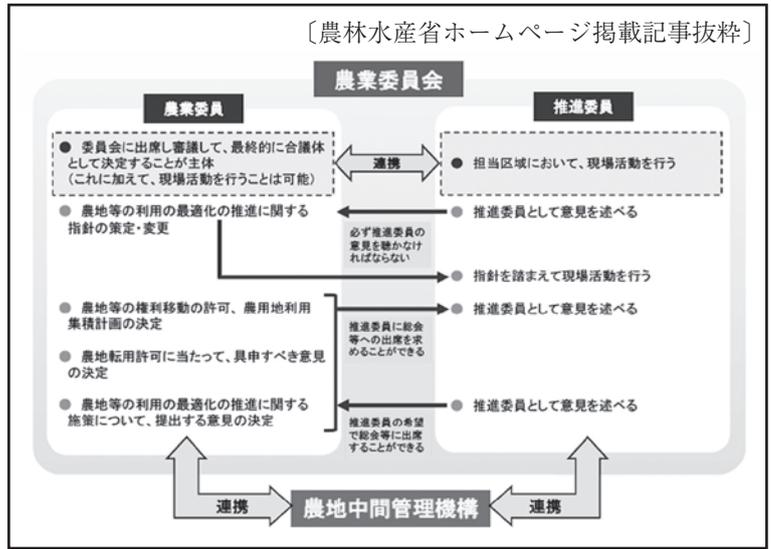
損害賠償の額

町が相手方に対し車両の修理費用のうち過失割合20%相当分を負担します。

(6千8百円)

※ なお、損害賠償金は町が加入する総合賠償補償保険制度の適用により支払われます。

〔農林水産省ホームページ掲載記事抜粋〕



条例の制定

美浜町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

全員賛成で可決

「農業委員会等に関する法律」の一部改正により、農業委員会制度が改められ、選出方法が「選挙制」から「任命制」に変更されます。

施行日

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行後最初に行われる農業委員会の任命の日から。

また、農地等の利用の最適化の推進に取り組む体制を強化するため、「農地利用最適化推進委員」が創設され、農業委員会から委嘱されます。改正後の農業委員会委員の定数は11人、推進委員の定数は12人です。

附則で、関連する旧制度の定数条例廃止と、報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正を規定しています。

平成29年度一般会計補正予算（第2号）の内容

歳入

地方特例交付金	151万4千円
地方交付税	1億1,278万1千円
総務費国庫補助金（旧氏記載等住基システム改修補助金）	394万2千円
介護保険特別会計繰入金	4,082万7千円
基金繰入金	▲1億4,562万9千円
繰越金	2億8,539万9千円
町債	3,300万円

歳出

基金積立金	3億2,495万2千円
旧氏記載等住基システム改修委託	394万2千円
都市下水路（川田）改良工事	104万円
町営住宅管理事業（修繕等）	120万円
職員人件費	70万円

9月補正予算は、3億3千183万4千円を追加し、補正後

平成29年度一般会計補正予算（第2号）

全員賛成で同意

の予算総額は76億4千92万6千円となりました。おもな補正内容は左表のとおりです。

会計名	当初予算額	補正予算額	補正後の予算額
国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	26億3,772万6千円	1,400万6千円	26億5,173万2千円
介護保険特別会計補正予算（第1号）	18億3,083万6千円	1億3,493万7千円	19億6,577万3千円
水道事業会計補正予算（第1号） （収益的収入及び支出）	5億2,105万5千円	108万8千円	5億2,214万3千円

平成29年度特別会計水道事業会計補正予算

3件とも全員賛成で可決

# 常任委員会

9月13日～14日

## 総務産業常任委員会

13日(水)午前9時開会。

7名全員出席のもと付託議案7件を審議・採決。

閉会中の継続審査案件を協議・決定し閉会。

### 主な質疑

#### ☆平成28年度一般会計

#### 歳入歳出決算認定について

Q ふるさと納税について町としての収支は。

A 美浜町に対する寄附総額は799万円と伸びたが、返礼品等に対する経費約220万円と本町から他市町村への寄附額1千500万円を差し引くと損失が大きい。

Q 町税過誤納還付金の内訳は。

A 法人・個人合わせて192件分である。

本会議で付託された議案が各常任委員会で審査され、委員会の審査結果は、最終日20日(水)に委員長報告を行い、質疑・討論の後、採決されました。  
なお、両委員会とも付託議案に対する賛成・反対の討論はありませんでした。

Q 豊かな海三河湾環境再生推進協議会について、構成と事業内容は。

A 三河湾に接する9市4町と県などで構成された組織で、三河湾の浄化推進など環境改善のため啓発活動、イベント等を実施している。

Q 新規就農総合支援補助金の対象となった農家の年度別内訳は。

A 平成24年度4名、25年度1名、27年度2名、28年度2名で計9名である。

Q 漁場改良事業の内容及びあさり稚貝放流事業の成果と今後の方針は。

A 漁場改良事業は良好な海苔養殖場確保のため、漁協が行う海底に堆積した砂を押しならす事業を補助す



るもの。稚貝放流についてはなかなかうまくいっていないが、あざりは野間漁協の主要な事業であり今後も補助していきたい。

Q 歴史観光ガイド協会の事業内容は。

A 町観光協会が窓口となり、内容に応じた登録ガイドを協会に依頼している。

Q 町観光協会を独立させた成果は。

A まだ1年半程度であり収益面での成果はもう一つであるが、民間のノウハウを活用したインバウンドへの対応、旅館組合への講習による意識改革、修学旅行の誘致など一定の成果を上げている。

Q 都市計画決定変更業務委託料の内容は。

A 市街化区域内の用途地域見直しに係る業務委託である。

Q 空き家実態調査の結果及び都市計画事業基金の残高は。

A 使用していない空き家、修理する必要のある空き家など274件の空き家があり対策を講じていく。  
基金残高は4億1千727万6千円である。

Q 災害用井戸水提供者の把握と水質調査に関して、住民が新規に検査を依頼できるか。

A 区長を通して依頼していただければ調査する。

Q Jアラートは同報無線と連動しているか。

A 情報の対象地域である場合自動的に連動し放送されるようになっている。

☆平成28年度農業集落家庭排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について

Q 農業集落家庭排水処理施設特別会計において、毎年2～3千万円を一般会計から繰り入れている状況は、いつまで続くのか。

A 今の施設を使用していく限り続くこととなる。  
施設は定住人口310人、観光客657人を前提に910人槽で整備されたが、現状の定住人口は218人であり、観光客を含め見込んだ施設の維持費を住民だけに負担させることはできない。使用料も近隣市町村と比べ高い水準にはない。

今後については、町全体を合併処理浄化槽による生活排水処理として進めていくことに合わせて施設を転換していくことも選択肢の一つではあるが、補助金の返還など問題もあり検討課題となっている。

# 文教厚生常任委員会

14日(木)午前9時開会。

6名全員出席のもと付託議案7件を審議・採決。

閉会中の継続審査案件を協議・決定し閉会。

## 主な質疑

### ☆平成28年度一般会計

#### 歳入歳出決算認定について

**Q** 放課後児童クラブの利用者について奥田放課後児童クラブの利用率が高いが、河和放課後児童クラブに回されていないか。

**A** 定員の都合により奥田から河和に3人移っていたが、本年度、国の補助金を利用して奥田放課後児童クラブを増設することにより対応する。

**Q** 図書館の読み聞かせをどのようにお母さん方に案内しているか。

**A** ブックスタート事業として、4か月と1歳半の健診時に、職員が保健センターに出向き、ボランティアと

緒に対象親子へ個別に絵本の読み聞かせを行っている。

特に、4カ月児に対しては読み聞かせを行うには早いのではと思われる保護者も多いが、絵本を見た時の子どもの反応が良く、その場での絵本のプレゼントも効果があることから、毎週木曜日に開催する乳幼児を対象としたおはなし会への参加者も増えている。

**Q** 給食費について、食材費が予算を超えるような場合、町費で負担しているか。

**A** 予定していた献立に対する食材費が予算を超える場合は、栄養教諭等が他の食材に切り替えるなど工夫して対応している。

### ☆平成28年度国民健康保険

#### 特別会計歳入歳出決算認定について

**Q** 平成28年度は一般会計からの「その他一般会計繰入金」を繰り入れることなど決算することができたことだが、高額療養を

受けた者が少なかったということがあるか。

**A** 平成28年度は、本町の高額療養費は高くなっているが、町から国保連合会に拠出金を出していることにより、高額療養費の実績に応じ交付金を受けているため、高額療養費が出ても財政的に大きな負担とはならない。

財政的には、国・県の負担金、補助金、社会保険診療報酬支払基金からの前期高齢者の部分と、退職の部分の交付金の変動が金額として大きく影響する。

平成28年度はその部分が割に大きかったため、その他一般会計繰入金を繰入れることなく決算できた。

**Q** 健康診断の受診率が37.6%であるが、町の目標は何%か。

**A** 総合計画では60%が目標であるが、平成28年度全国平均は、本町と同じ37.38%となっている。

知多管内では、半田市・東浦町は60%くらいの受診率があり、本町はここ3

年ほど37%前後で推移しているため、これを伸ばすため40歳限定の啓発、個別

検診の受診期間の延長、検診前日の放送など努力している。

将来的には60%が目標ではあるが、当面40%を超えることが課題と考えている。

### ☆平成28年度介護保険

#### 特別会計歳入歳出決算認定について

**Q** 要介護、要支援の認定者数の推移の傾向は、また審査が厳しくなってきたということはないか。

**A** 介護認定審査会を毎週木曜日に開催し、認定審査委員の先生方への確かな審査をしていただいております。審査を厳しくすることはない。

認定者数も、平成26年度939人、平成27年度961人、平成28年度990人と増えている。

付託された議案	付託委員会	委員会採決結果	質疑
美浜町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について	総務産業	全員賛成・可決	なし
平成29年度美浜町一般会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成・可決	なし
	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成29年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成29年度美浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成29年度美浜町水道事業会計補正予算(第1号)	総務産業	全員賛成・可決	なし
	総務産業	賛成多数・可決	あり
平成28年度美浜町一般会計歳入歳出決算認定について	文教厚生	賛成多数・可決	あり
	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成28年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成28年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	文教厚生	全員賛成・可決	なし
平成28年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	文教厚生	賛成多数・可決	あり
平成28年度美浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	全員賛成・可決	なし
平成28年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について	総務産業	全員賛成・可決	あり
平成28年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	総務産業	全員賛成・可決	なし

## 平成28年度歳入歳出 決算認定

一般会計を始め7会計の歳入歳出決算認定について審議が行われ、最終日の採決に先立ち、それぞれ賛成討論・反対討論がありました。

### 平成28年度一般会計歳入歳出決算認定に対する討論

**反対** 日本共産党議員団 山本 辰見

知多地方税滞納整理機構から脱退し、町民に寄り添った収納を行ってください。奥田の陸上競技場を含む運動公園はどこからの発想・依頼・要望なのですか。維持管理費の町民負担・経済波及効果など問題点が多く、空き家対策や既成市街地整備などを駅前開発事業より優先して取り組むべきと考えます。学校給食費の補助、小中の普通教室へエアコン設置もなく、反対します。

**賛成** チャレンジMIIHAMA 丸田 博雅

神谷町長として編成した予算に対する初めての決算でしたが、公共下水道事業、総合公園拡張事業を公約に従い見直し、真に「まちづくり」に必要な事業を厳選し実施した内容となっております。今後も本町の持つ地域特性を活かしたまちづくりの推進と安定的な財政運営を期待し賛成します。

**賛成** 政和会 江元 梅彦

本町の財政は大変厳しい状態が続いており今後さらに厳しくなることが予想される中、町がなすべきことは協働のまちづくりの推進、慎重な財政運営をしつつ先を見通し必要な事業を英断をもって進めることであり、神谷町政はそれを実行しており、評価し賛成します。

### 平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定に対する討論

**反対** 日本共産党議員団 鈴木 美代子

介護保険が2000年に導入された当初の介護保険料から、現在の第6期介護保険事業計画では倍以上になっています。県内の多くの市町では独自の介護保険料及び利用料の低所得者減免措置を行っており、美浜町でも導入するよう要望してきましたが、実施されておらず、賛成できません。

会計名	予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額	
一般会計※1	81億5,126万2,000円	77億4,706万8,969円	73億9,721万2,570円	3億4,985万6,399円	
特別会計	国民健康保険	26億8,369万1,000円	26億6,827万4,822円	26億1,011万7,049円	5,815万7,773円
	後期高齢者医療	2億9,332万3,000円	2億6,845万1,257円	2億6,822万9,627円	22万1,630円
	介護保険	19億2,746万3,000円	17億5,910万5,866円	16億2,416万7,553円	1億3,493万8,313円
	土地取得	3,515万1,000円	3,512万3,111円	3,512万3,111円	0円
	農業集落家庭排水	3,180万6,000円	3,033万 67円	3,033万 67円	0円
水道事業会計※2	収益的収支	収入5億2,301万5,000円 支出5億 552万8,000円	5億4,409万8,384円	4億7,184万8,311円	7,225万 73円
	資本的収支	収入 3,157万3,000円 支出2億1,239万円	2,043万7,352円	1億9,091万 803円	▲1億7,047万3,451円

※1〔一般会計〕収支差引額には翌年度繰越明許費繰越額445万7,000円が含まれており、実質収支は3億4,539万9,399円。〔特別会計は繰越事業がないため収支差引額が実質収支となります。〕

※2〔水道事業〕収益的収支において事業収益には資本的収支たな卸資産購入費の消費税及び地方消費税差引額1,109万8,573円が含まれており、当年度純利益は6,115万1,500円。また、資本的収支の不足額は、過年度損益勘定留保資金1億5,939万7,967円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,107万5,484円で補てんしました。

## 意見書・請願

可決案件は国の関係機関へ提出され、否決案件は廃案となります。

### 提出者(2件共通)

(日本共産党議員団提案)  
鈴木 美代子、山本 辰見

### 議員発議の意見書

#### 2件可決・2件否決

本会議3日目、議員発議により4件の意見書が提案され、趣旨説明・質疑を行いました。討論・採決は最終日に行いました。

### 提出者(2件共通)

(全会派賛同により、議会運営委員会から提案)

代表提出者 江元 梅彦  
提出者 大岩 靖

鈴木 美代子  
横田 貴次  
丸田 博雅

道路整備の長期安定的な財源確保についての意見書

### 全員賛成で可決

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

### 全員賛成で可決

趣旨 国に対し29年度予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持などを強く要望します。

### 提出先

内閣総理大臣、  
内閣官房長官、総務大臣、  
財務大臣、文部科学大臣

道路整備の長期安定的な財源確保についての意見書

### 全員賛成で可決

趣旨 真に必要とする道路整備推進のために必要な予算確保と、道路整備事業に係る国の

財政上の特別措置に関する法律の補助率等嵩上げ措置について、平成30年度以降も継続することを強く要望します。

### 提出先

参議院議長、  
衆議院議長、内閣総理大臣、  
内閣官房長官、総務大臣、  
財務大臣、国土交通大臣

最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書

### 賛成少数で否決

趣旨 人間らしく生活できる金額の最低賃金を基本に、生活保護基準、年金、下請単価、課税最低限などを整備して、誰もがどこでも安心して暮らせる社会に転換する必要がある。最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求めるよう強く要望します。

適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書

### 賛成少数で否決

趣旨 入札参加事業者の適切評価、地域社会形成を担う事業者の育成・雇用・労働条件の安定を観点に取り入れた入札及び契約制度の実現が重要であり、適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法制定を求めるよう強く要望します。

## あなたも議会を傍聴しませんか？

本会議場で行なわれる議会は、どなたでも傍聴することができます。

また、全員協議会および各委員会は議長等の許可があれば傍聴することができます。

※ 議会傍聴の際に、手話通訳など支援が必要な方は、お手数ですが2週間前までにご相談ください。

### ☆ ケーブルテレビ(CCNC)放送予定 ☆

【121ch】午前9時～「一般質問」放映  
12月13日(水) および12月16日(土)

## 平成29年12月定例会の開催予定

いずれも午前9時から 美浜町役場 3階

<日程は11月27日告示日に確定します。>

12月5日(火) 本会議 (開会・提案説明)

(本会議終了後)全員協議会(議案説明会)

6日(水) 全員協議会 (議案説明会) ※予備日

7日(木) 本会議 (一般質問1日目)

8日(金) 本会議 (一般質問2日目) ※予備日

12日(火) 本会議 (質疑・委員会付託)

13日(水) 総務産業常任委員会

14日(木) 文教厚生常任委員会

19日(火) 本会議 (委員長報告・討論・採決・閉会)

☆お問い合わせ先

美浜町役場 議会事務局 TEL 82-1111 (内線285・286)

# ごみ減量化実施計画の今後は？



大岩 靖

平成32年度までの4年間  
段階的に実施します。



(オレンジ色の指定ごみ袋)  
ミックスペーパーの分別収集が始まりました

**問** ごみ減量化実施計画の進め方は。

**町長** 本年度から平成32年度までの4年間で段階的に実施します。

まず第一弾で10月よりミックスペーパーの分別をします。平成30年度からは、草や木類の資源化を図り、平成31年度からは、ビンや缶等の資源物を回収するエコステーションの設置を検討します。

平成32年度には新しく容器包装プラスチックの分別収集とごみ袋有料化の導入について計画・検討をします。

**問** 平成32年度末までのごみ減量化の具体的な数値目標は。

**経済環境部長** 平成26年度の実績を基にして、家庭系ごみの総排出量を18%（6千906tを5千7tに）、事業系ごみの総排出量を19%（3千375tを2千734tに）、それぞれ削減を目標にします。

美浜町の一人一日あたりの家庭系ごみの排出量は、愛知県下54市町村の中でワースト3位であり、県内平均535gにくらべ美浜町は693gと多く、町民の皆様にはごみ減量に協力をお願いします。

**問** ごみ袋有料化についての考えは。

**町長** ごみ袋有料化とは、ごみ処理費の手数料をごみ袋代金に上乗せして、指定ごみ袋を販売するものです。

本年度から実施するごみ減量化実施計画による様々な減量化及び資源化の施策による結果や、周辺市町の動向を踏まえて慎重に検討します。

減量化が計画以上に実現すれば、有料化しないことも考えます。

**問** エコステーションの開設予定は。

**経済環境部長** ビンや缶などの資源物を回収するエコステーションの開設は、平成31年度を予定していますが、現在のところ、具体的な場所などは決定していません。

## 河和中の西側道路の安全対策は

**問** 河和中学校の西側道路について、朝夕の渋滞を避ける自動車が、う回路として利用しているが、通学路でもあり、安全対策は。

**町長** 河和地区国道247号線の交通渋滞の際、町道河和中学校線が、う回路として利用されていることは承知していますが、車道幅員が5.5m未満のため、センターラインは設置できません。



町道河和中学校線  
(上前田信号交差点～河和中学校)

カラー舗装や外側線の設置など道路改良工事については、第5次美浜町総合計画の中で道路ネットワークの充実策として、幹線町道の歩車道分離改良事業を推進しており、町道河和中学校線についても夜間は道路幅がわかりにくいいため、道路改良工事を検討しています。

**建設部長** 現在、町内各地域の区画線が不鮮明になってきており、計画的に引き直しを実施しています。

# 豪雨災害に対する備え 「タイムライン」はできていますか？



荒井 勝彦

タイムラインと同意義のものは整備できています。



大雨で増水した山王川

**問** 近年、各地で豪雨災害が多く発生していますが、住民の早期避難を促す体制は整っていますか。

**町長** 各種警報が発表された時点で、町長を本部長とする美浜町災害対策本部を立ち上げます。

この本部員会議において、現状分析と対策活動を協議し、同報無線・メール配信サービス・広報車など幅広い手段により、確実な情報伝達に努めて参ります。

## 婚活事業のこれからは

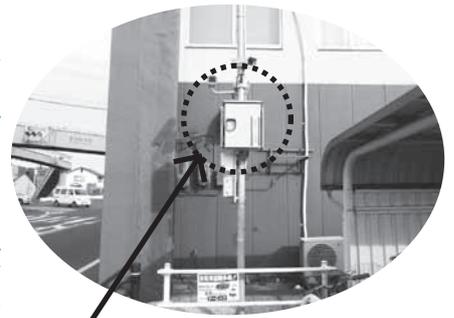
**問** 本町の婚活事業もある程度の成果を上げていると思いますが、成立したカップルのアフターフォローはどのように行っていますか。

**町長** アフターフォローはプライベートなものであり、求めている人も求めている人もおみえになりません。

カップルから相談があれば、力になれる範囲で相談にのっていききたいと思います。

**問** 生涯独身率が年々上昇しています。熟年者の出会いの場を提供することも必要だと感じますが、いかがですか。

**企画部長** かつて35歳以上の参加者を募って婚活イベントを行ったこともありましたが、今後対象年齢の見直しも含めて検討していききたいと思います。



河和駅前駐輪場に設置されている防犯カメラ

## 防犯カメラ設置に対する補助金制度の創設を

**問** 本年6月30日に半田警察署より本町に対して、防犯カメラ設置に対する町としての補助金制度創設要望がありました。どのように対応していきますか。

**町長** 防犯カメラの有効性については認識しており、プライバシー保護に留意しつつ、設置が進むのであれば好ましいと考えています。

現在補助制度を運用している近隣市町の現状を把握して、平成30年度当初予算に計上する考えです。

## 小中学校における道徳の教科化について

**問** 小中学校において道徳の授業の教科化が実施されるようですが、なぜ今教科化しなければならなくなったと考えられますか。

**教育部長** 大きな社会問題となっているいじめ問題の解決に向けて、道徳教育の重要性が改めて強調されたからです。

**問** 道徳教育教科化の実効性について、教育長としてのお考えをお聞かせ下さい。

**教育部長** 使用する教科書も良く吟味されており、それに沿った指導書も整っています。

これらの検定を受けた教科書を使うことにより、一定レベル以上の質を維持した授業が可能となります。

これにより道徳の授業は、質的に確実に向上し、教科化の実効性はあると考えております。

# 深刻化する美浜町の人口減少の原因は？



横田 貴次

予想以上に少子高齢化が急速に進んでいます。

**問** 総合計画で示す推計人口を早い時期に下回る原因は。

**町長** 推計人口を下回る要因は、総合計画に基づき様々な施策を進めているものの、少子高齢化が急速に進んでいることのほか、町内企業の社宅の撤去、さらには日本福祉大学の東海キャンパス新設に伴う経済学部・国際福祉開発学部の東海市への移転が大きな原因と考えられます。

**人口減少は税収や行政組織にどのような影響が及ぶのか**

**問** 推計人口1万9千人と想定すると本町の税収や職員の人員・組織構成にどのような影響が及ぶと予想しますか。

**町長** 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の人口は二〇四〇年には1万9千人に、二〇六〇年には約1万4千人にまで減少すると推測されています。個人町民税を推計すると、二〇一四

年に比べ、約25%減少すると予想しています。

職員の人数については職員数の定員適正化計画に基づき、平成28年から32年にかけて10人の削減を目標として見直しに着手しています。

人口1万9千人を想定した提示はできませんが、今後も業務の効率化、事務・事業の整理・再編と併せて人員・組織の見直しを進めていきます。

**人口減少に歯止めをかけるための具体的な取り組みは**

**問** 人口減少問題に対して行政として取り組んできた政策決定や、具体的に実施・計画してきたことはありますか。

**町長** 「子育て支援から高齢者の生きがいづくり」までを対象とした事業が一貫して行うことができる空間を創出し、観光やスポーツ大会の誘致により町に活気をもたらす「美浜町運動公園事業」や、「誰も

が生涯にわたり活躍できるまち美浜」の創造を目指す「美浜の里構想」といった地方創生事業の推進など、人口減少対策事業を実施しています。

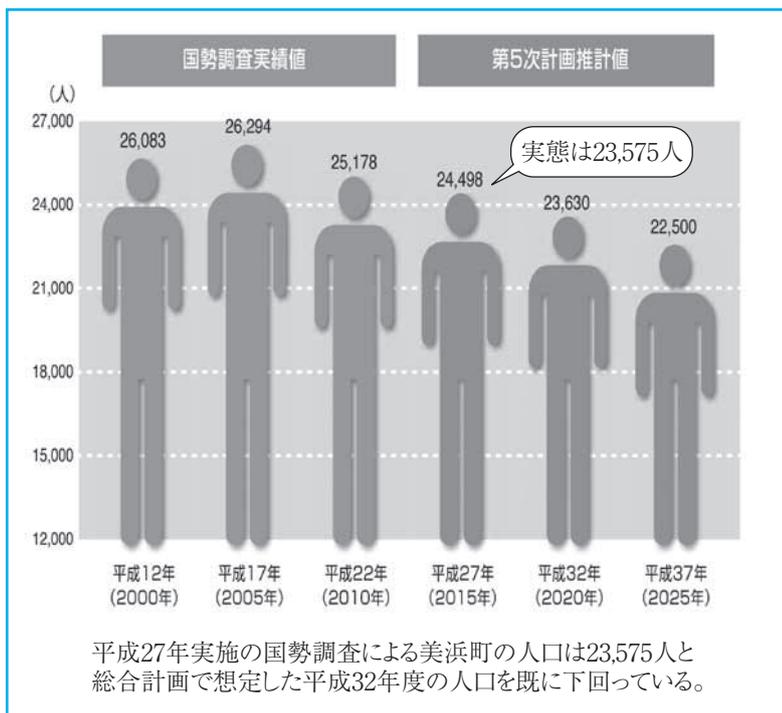
**問** 国家機構誘致や企業誘致など、行政として具体的な取り組みは行ってきましたか。

**町長** 平成19年3月に「企業立地促進条例」を制定し都築紡績河和工場跡地における工

場等の誘致を進める中、地元区のご理解を頂きながら、平成21年3月に大型商業施設の立地・営業開始に至りました。

今後は日本福祉大学との連携を強め、福祉に関する研究所、学生の研修施設など、本町の特性を生かした企業・国家機構の誘致に向けた取り組みを実施していきます。

「第5次美浜町総合計画 2014-2025」より 美浜町の推計人口



# 南海トラフ巨大地震への取り組みは？



丸田 博雅

防災訓練等で意識向上に努めています。



知多厚生病院との  
連携防災訓練



**問** 災害発生時・発生後の各

防災関係機関・企業・店舗との協力提携などの対応はどのようなになっていますか。

**町長** 災害における傷病者の受入は災害拠点病院である知多厚生病院と町災害対策本部の連携体制を構築しており、消防署・消防団は県高度情報通信ネットワークで情報共有しています。

さらに、消防団は分団長以上幹部と各班に配備された無線機を使い実践的な訓練等を行っています。

また、地元企業・店舗等には物資の輸送、井戸水の提供、

食料品・日常生活用品・燃料などの調達・供給に関する協力や、施設利用や医療活動に関する協力などをお願いしております。

**問** 高齢者・障がい者といった災害弱者世帯への対応は。

**町長** 災害弱者支援で重要なことは、行政と地域住民の方々が共助できるような「どこにどのような状態の方がいるか」把握することですが、個人情報保護の課題があります。

町では本

人同意により居住地の自主防災組織に災害発生前から情報提供できるように「災害時要支援者登録制度」を設け、登録をお願いします。

**問** 民家近くのため池で、崩壊による危険があるため池は

ありませんか。

**建設部長** 平成25年から県で

防災重点ため池34箇所を点検調査し、本年度末に完了します。点検が済んだ26箇所のうち耐震不足は16箇所、そのうち人家など下流に影響のあるため池は14箇所、現在耐震対策を行ったため池は1箇所です。

**問** 町防災会議の意義は、また検討内容をどのように活かしていますか。

**町長** 災害対策基本法に基づき、地域防災計画を作成・実施を推進するとともに防災に関する重要事項を審議しています。

防災会議では、内容の検討・修正やハザードマップの見直しなどを行い、自主防災組織連絡協議会で提案し、災害に対応できるまちづくりを目指します。

## 知多東部線の早期着工と知多西部線の進捗状況は

**問** 国道247号線の平日朝夕の通勤時間帯や土日・祝日の観光客による渋滞解消のためにも、知多東部線・西部線の早期着工・実現を。

**町長** 知多東部線については、河和台南、県道半田南知多線（通称内海県道）の信号交差点から、国道247号線古布信号交差点の区間「河和バイパス」についての事業化に向け協議中です。

知多西部線については上野間地区の県道小鈴谷河和線（通称上野間県道）までの3km「常滑美浜バイパス」が事業化されています。

現在は県道上野間布土線（通称布土県道）との立体交差ボックス建設が年内に完成し、仮設道路から復旧する工事を発注予定です。

# ごみ袋の有料化が前提の 計画の説明だったのでは？



山本 辰見

有料化を決定していませんが  
真剣な検討が必要な状況です。

【取り組みスケジュールの予定】

	H29 後期	H30	H31	H32
ミックスペーパーの分別収集	→	→	→	→
生ごみ減量化の強化	→	→	→	→
草・木類の資源化		→	→	→
エコステーションの設置			→	→
容器包装リサイクル（プラスチック）の 分別収集				→
ごみ袋有料化の導入				→

**問** ごみ袋の有料化で削減目標全体の4割を見込んでおり、有料化が大前提ではないですか。平成32年度実施ではなく、その他の削減実績を見て、その検証後に再検討すべきと考えますが、一定の削減ができれば有料化はしないで済みませんか。

**町長** 有料化は決定していませんが、現時点では削減目標達成のためには真剣に検討が必要な状況です。

**経済環境部長** 取り組みスケジュール表では、ご指摘のとおり平成32年度にごみ袋有料化の導入という表現になっていますが、説明会では、「どうしても削減目標に達しない場合の手法の一つとして検討せざるを得ません。有料化を既に導入している常滑市においては、導入直後に127%の削減に成功しており、知多半島全ての全自治体に関心をもって検討しております。本町としてもその動向や今後の削減実績を踏まえ慎重に検討していきます。」と説明させていただきました。

**問** ごみ減量化には、住民の意識改革が大事であると考えますが、町民へのPR・周知期間・検証期間ともに足りないのではないですか。

**経済環境部長** ごみ減量化は、住民の皆さん一人ひとりの協力がなければ達成できず、達成できなければごみ処理費用の負担が高くなってしまいます。

す。町の策定したごみ減量化実施計画は、平成32年度までの計画となっており、そこを一つの区切りとして検証し、その実績を住民の皆さんにお示しするという考えです。

**問** 草木の資源化及びエコステーションの設置についてはどのような状況ですか。

**経済環境部長** 草木の資源化については、堆肥化を検討している業者と協議を進めています。

エコステーションの設置についても、その手法、場所等について現在検討中です。

**野良猫などの不妊・去勢手術の助成は**

**問** 殺処分頭数の削減、むやみな繁殖防止、糞尿や鳴き声などの迷惑防止にもつながりますが、助成制度を考えませんか。

**町長** 本町には、手術を行った野良猫の養生期間に保護を行う地域猫活動団体はありま

せん。

また、町で保護する考えも今のところありません。

猫については、飼主が最後まで責任を持って飼うことが重要であり、また、野良猫への餌やりについての住民の意識改革が優先であると考えており、助成については現在のところは考えておりません。

**問** 多くの地域で「地域ねこの会」などの活動が広がっていますが、本町でも環境整備事業として助成する考えはありますか。

**経済環境部長** NPO・ボランティア団体がまちづくり事業の一環として、「まちづくりエンジンプラン」などに応募し、採択されれば助成させていただきます。

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック ホストタウンの登録は？



石田 秀夫

## シンガポール共和国のホストタウンに 登録が決定しました。



ホストタウンに決定し、  
シンガポール大使を訪問

**問** 二〇二〇年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、内閣官房の大会推進本部は、スポーツ立国・グローバル化の推進・地域の活性化・観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るため、ホストタウン自治体を審査・登録しています。

本町は、かねてより草の根国際交流を続けてきたシンガポールのホストタウンとして7月7日に第4次登録されましたが、受け入れ体制等、町の方針について伺います。

本町は、本年5月に第4次申請を行い、本町出身の幕末の漂流民「音吉」と歴史的に繋がりが深く、二〇〇五年の愛知万博1市町村1国フレンドシップを契機とした、これまでの小中学校の相互交流などが認められ、シンガポール共和国のホストタウンとして登録が決定しました。

**町長** 国ホストタウン構想は、参加国と地域との交流を深めるもので、大会前後を通して地元住民と選手、大会関係者とのスポーツ振興や文化・観光など多様な取り組みを継続的にを行い、地域の活性化を図るものです。

本町は、本年5月に第4次申請を行い、本町出身の幕末の漂流民「音吉」と歴史的に繋がりが深く、二〇〇五年の愛知万博1市町村1国フレンドシップを契機とした、これまでの小中学校の相互交流などが認められ、シンガポール共和国のホストタウンとして登録が決定しました。

ホストタウンとしての受け入れ体制については、現在、町内の関係機関との連携を進めています。その一例を申し上げますと、①美浜町観光協会では伝統文化や自然体験等を

活用したインバウンドを視野に入れた観光振興、②美浜町少年自然の家では施設内の体育館等を活用した合宿誘致、③日本福祉大学では大学のスポーツ施設を活用した合宿誘致や選手との交流等、④小中学校では子どもたちの相互交流や学校体験等、⑤地域住民や子どもたちによるスポーツや文化などを通じた交流などです。

また、ホストタウンの交流事業等は、国の財政措置があるほか、まちづくりに積極的な自治体であると意識されることで様々な国の事業において本町の優先順位が上がるなどメリットが期待されます。

町が一体となって連携した協力体制により、より充実したホストタウンを推進していきたいと考えております。

草の根国際交流で小中学生を派遣  
ホームステイの旅・結団式



生誕200年記念で上演された  
ミュージカル「音吉物語」

# 準要保護児童・生徒へ入学準備金を 早く支給できませんか？



鈴木美代子

## 文部科学省通知を受け入学準備金の 入学前支給を予定します。

問 準要保護児童生徒への

「入学準備金」支給は入学後の5月以降ですが、入学前に支給できませんか。

学校教育課長 支給要綱を改正し、入学前の3月中旬に支給できるように12月議会に補正予算を上程する予定です。

### 学校給食費に補助を

問 景気の低迷が続き、子どももの貧困化も深刻であることから、本町においても学校給食費の一部補助を考えませんか。

教育部長 教育基本法・学校給食法でも給食費は保護者の負担とされており、本町もそれに沿って実施しております。

なお、給食費の補助を行っている市町村は県内の54市町村のうち10自治体です。

問 南知多町では、学校給食法の規定は食材費の補助・負担を禁止するものではないとの解釈により、食材費の一部を補助していますが、いかがですか。



入学準備品の購入に間に合う？  
(写真はランリュック)

学校給食センター所長 南知

多町は地域性もあり、一人当たりいくらかという補助ではなく、食材費の一部を補助していることは承知していますが、困窮家庭には準要保護世帯に対する補助制度もあり、本町としては、食材費を補助することは考えていません。

### 教員の勤務内容改善を

問 6月議会でも明らかになつた教員の負担軽減のため、学校訪問用資料の簡略化や、クラブ活動時間の短縮を考えると、いかがですか。

教育部長 学校訪問時に作成する冊子は知多半島5市5町

で組織する知多教育事務協議会で検討するものであり、本町単独で変更できません。教員からも「勉強になってるので現状のままが良い。」との声もあることから慎重に検討してまいります。

また、部活動の改善については、県が策定予定の部活動指導ガイドラインに沿って検討し、進めてまいりたいと考えています。

### 道徳教育・英語教育の教科化について

問 道徳教育・英語教育で何を教えるのですか。

また、教師・指導助手の確保はどのように対応しますか。

教育部長 道徳教育は、学習指導要領にあるように「自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる」ため、教師も共に考え、共に語り合うことを

通して、道徳的価値の把握を目指してまいります。

英語教育については、「外国語による『聞く・読む・話す・書く』の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成」を目標としており、外国語活動指導員を1名増員し2名にするなど、担任教員の負担軽減を図りつつ学習活動を充実させてまいります。

### 浄化槽法定検査制度の見直しを

問 現行の規定は住民負担が重く制度見直しを国に要望すべきではないですか。

経済環境部長 浄化槽法に規定されている法定検査・保守点検・清掃は、5人槽の合併処理浄化槽で年間4万4千円程度と聞いておりますが、いづれも生活環境の保全、公衆衛生の向上のため必要なものであると考えています。

# 町が計画している大型事業、 将来を支える次世代に及ぼす影響は？



森川 元晴

一時的な財政的負担は大きくなるが、  
本町の将来発展のため必要な事業と考えています。

**問** 大型事業に対し若者世代を意識した周知、考えを問う事をしてきましたか。

**町長** 広報みはまのほか、ホームページへの掲載や、美浜町総合計画策定時に次世代ワークショップを実施し、若い感性を活かした新鮮な意見を聞くなど若者世代を含めた周知等を心掛けております。

**問** 運動公園、総合公園整備事業に伴い実施される河川・道路整備等に係る国・県への折衝や交渉の進捗状況は。

**町長** 国の補助金制度であります「社会資本整備総合交付金」について、本年度は1億5千万円の交付決定を受けました。山王川については整備計画を策定し実施計画に取り組んでいます。

都市計画道路知多西部線についても昨年度「道路予備設計」が実施されました。

**問** 公園整備の目的・必要性、また負債・維持管理等将来への不安は。

**町長** 知多奥田駅周辺地区については、総合計画及び都市計画マスタープラン等でも「住宅・商業ゾーン」また「学園ゾーン」として位置付けられており、駅西側での住宅・商業施設整備に発展していくことが期待されます。

本事業の建設費は、都市計画税と一時的な借入金を充てます。維持管理費については、利用者の負担金ではまかなえません。来町者の増加による地域経済の活性化及び福祉

大学生の定住化による経済効果など財政としてトータル的にまかなえるものと考えており「不安」はございません。

**町における「少子高齢化社会」  
「2025年問題」  
について**

**問** 少子高齢化の進展により社会保障費・福祉制度のもととなる人口構成バランスが崩れていくことに対し、どのように考えますか。

社会福祉交流会、サポーターフォーアアップ講座の開催、また、迷い人SOS情報ネットワーク事業と地域見守り協定の推進等、現在美浜町地域包括ケアシステム推進協議会において取り組んでおります。

**町長** 歳入が減少する一方で、社会保障費が増大することは、非常に大きな問題であり、今後も、更に健康づくりに力を注ぎ、自立支援への取り組みを推進することで高齢者自身の健康寿命を延ばし、人口構成バランスの変化に対応して参りたいと考えております。

**問** 町における認知症対策は。

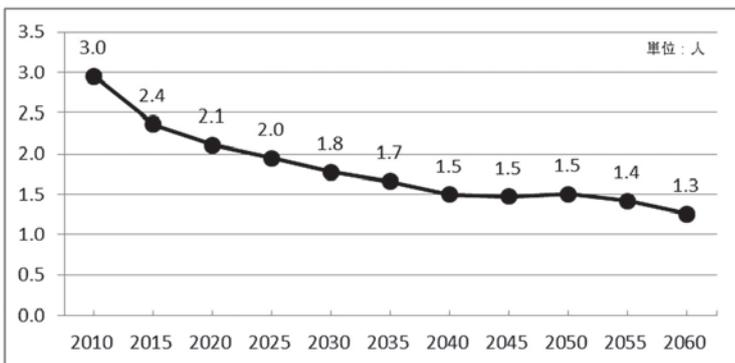
**町長** 認知症家族支援としては、介護家族交流会、サポーターフォーアアップ講座の開催、また、迷い人SOS情報ネットワーク事業と地域見守り協定の推進等、現在美浜町地域包括ケアシステム推進協議会において取り組んでおります。

**問** 今後少子化の進展は小中学校の教育現場にどのような深刻な影響を及ぼしますか。

**教育部長** これまで進めてきた少人数学級にも限界があり、児童生徒の良好な教育環境のためにも、30年後を見据えた新たな体制づくりが必要と考えています。

「まち・ひと・しごと総合戦略2015」より

65歳以上の高齢者を支える15~64歳の人数は、  
2010年は3.0人 → 2060年はわずか1.3人



高齢者を支える人（社人研推計に基づく）

# 想定を上回る人口減少・少子高齢化による総合計画の見直しは？



横田 全博

これまで実施したことのない基本計画部分の見直しを平成31年度に行います。

## 協働のまちづくりについて

**問** 以前は、人口が増加する事で地域の活性化を維持しようとしてきたが、少子高齢化と人口減少が進む中では、人口増加を前提としない、新しいまちづくりが不可欠です。特に町の財政の改善は、長期的に展望し難い現状です。こうした状況を踏まえ、多くの町民が望む施策に効率的に財源を配分していかないと、

町運営がままならない状況が生まれてきます。

そこで、町民と行政が協働して公共サービスを担う協働のまちづくりが必要です。「生涯活躍のまち基本構想・基本計画」では、この計画の推進をまちづくり団体としておりますが、どのような組織ですか。

**町長** まちづくりへの意識が高い人々からメンバーを募り、まちづくり団体準備委員会を



河和学区  
青少年を守る会  
「農業体験」



立上げ、運営の主体や方法を検討し、将来的には法人化を目指すものです。

**問** 町民との協働のまちづくりをどのように評価しますか。

**町長** この協働によるまちづくりを展開し、町民・地域・行政がお互いの立場と役割を理解しながら、ともに汗をかく、住みよいまちを創っていくことが重要であり、これを行うことにより、柔軟で効率の良い行政運営に繋がっていくと考えております。

**問** 協働のまちづくりでは、町民の参加意識が最も重要と考えますが、いかがですか。

**町長** 協働のまちづくりでは、「政策等を自分事」ととらえ、どのように地域の活性化のために行動していくか」を皆が考えていくことが本来のまちづくりへ繋がるものだと思います。

今後も「ちゃぶだいミーティング」のような機会を設

け、協働のまちづくりに向けた人材育成や住民の意識改革に努めてまいります。

## 投票率向上への取り組み

**問** 過去2回の選挙で最低の投票率を示した河和北投票所の原因を分析しましたか。

**総務課長** 新投票所設置の際、坂がある河和小学校と集落から少し距離がある河和北保育所で検討しましたが、総合的に現行の場所に決定しました。

投票所に指定されている  
河和北保育所



# 特別委員会 活動紹介

閉会中に行われた特別委員会の活動を紹介します。

## 議会広報特別委員会

8月9日に愛知県町村議会議長会が主催する「町村議会広報研修会」が名古屋市中で開催され、議会広報特別委員会の委員全員が参加しました。議会広報の文章表現やレイアウト構成など、より親しまれる紙面づくりのための編集技術を学びました。

## 美浜町運動公園整備 調査研究特別委員会

奥田駅東部に計画されている美浜町運動公園整備に向け、10月13日に半田市運動公園・陸上競技場を視察調査してきました。

## 調査結果概要

大崎委員長を始めとする議員全員で半田市運動公園を視察してきました。

半田市運動公園は、施設面積26.7haで、陸上競技場のほかにテニスコート、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ちびっこ広場等が整備されています。視察のおもな目的は陸上競技場についてであり、担当者の案内により施設を見学後、整備概要、整備費用及び維持管理費等を中心にお話を伺ってきました。

視察後に開催した委員会では、様々な意見・感想が出されました。

(一部を抜粋して掲載)

「陸上競技場だけで37億円をかけた半田市に対抗した施設を整備するのではなく、

知多奥田駅・日本福祉大学に隣接し、民宿等宿泊施設も整っているといった美浜町の特性を生かした施設を整備すべきである。」

「陸上競技場だけでなく、施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

半田市の陸上競技場について説明をうける議員たち



「半田市は、市民福祉の向上、市民の運動環境等の整備に重きを置き、維持管理費に対する使用料収入はとても低く設定されている。」

美浜町は財政力も低く、町当局の言う経済波及効果を含め、収支計画をしっかりと見極めていく必要がある。」

「多額の維持管理費が、子どもや孫たちへの負担とならないか。」

「いや、何もしないで町から子どもや孫がいなくなるこの方が心配だ。」

「いや、何もしないで町から子どもや孫がいなくなるこの方が心配だ。」

「いや、何もしないで町から子どもや孫がいなくなるこの方が心配だ。」

「いや、何もしないで町から子どもや孫がいなくなるこの方が心配だ。」

「美浜に誇れる施設として整備することに夢を感じる。」

今後も、議会として積極的に調査研究、議員相互の意見交換を重ねつつ、町から示される整備計画を検証してまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。



愛知県町村議会広報研修会

## 調査参加者(13名)

特別委員会委員8名を含む全議員

☆調査事項と調査結果概要

## 調査事項

①半田市運動公園の概要

②建設費(事業全体経費、施設ごとの整備費用)

③陸上競技場(競技場・付帯施設等別)施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

④施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

⑤施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

⑥施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

⑦施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

⑧施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

「陸上競技場だけでなく、施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

「陸上競技場だけでなく、施設整備費、維持管理費、年間利用状況、事業収入(使用料・減免範囲等)・経済波及効果

審議結果一覧表

9月4日から9月20日

議案名	付託委員会	審議結果	会派名														
			チャレンジMIHAMA							日本共産党議員団		政和会					
			無会派 森川元晴	横田貴次	荒井勝彦	大岩靖	横田全博	野田増男	大崎卓夫	丸田博雅	山本辰見	鈴木美代子	石田秀夫	杉浦剛	江元梅彦		
専決処分事項の報告について (少額の損害賠償和解報告) ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美浜町教育委員会委員の任命について	-	同意	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の報告承認について ※2	-	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の報告承認について ※2	-	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
美浜町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について	総産	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度美浜町一般会計補正予算(第2号)	各	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度美浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)	文	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度美浜町水道事業会計補正予算(第1号)	総産	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町一般会計歳入歳出決算認定について	各	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	文	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	文	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	文	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	総産	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町農業集落家庭排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について	総産	認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度美浜町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	総産	可決及び認定	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書について	-	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路整備の長期安定的な財源確保についての意見書について	-	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書について	-	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	○	○	×	×	×	×	×
適正な下請単価や賃金・労働条件を確保できる公契約法の制定を求める意見書について	-	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	○	○	×	×	×	×	×

○は賛成 ×は反対 野田増男議長は採決に加わりません。  
(付託委員会/総産:総務産業常任委員会、文厚:文教厚生常任委員会、各:各所管の常任委員会へ分割)

- 専決処分の報告と報告承認の違いは？  
※1 地方自治法第180条第1項の規定により、「町長が専決処分することができる事項」は議会議決により指定されています。  
①町が当事者である解及び調停について、その目的価格が50万円を超える場合は、議会に報告し承認を得なければならない。  
②同様に、法律上町の義務に属する損害賠償の決定で50万円以下の場合は、議会への報告のみで採決しない。  
・今回の場合は、②に該当し報告のみとなりました。  
※2 地方自治法第179条第3項の規定により、町長が行った予算に関する専決処分事項を、議会に報告し事後承認を得るものです。

「議会だより」は、美浜町議会議会広報特別委員会により編集・掲載しています。

編集後記

秋も深まり、10月からオレンジ色のごみ袋によるミックスペーパーの分別収集も始まりました。

いつの間にか空高く毎日に冷気が加わる季節となりましたが、私は最近、特に時間が経つのが早く感じられます。時間はすべての人に平等に与えられているはずなのに、この感覚は何なのでしょう。

さて、9月定例会では、前年度決算認定の審査も行いました。特に、一般会計の決算認定では、賛成・反対それぞれの立場から討論がなされ、採決が行われました。活発な議論は「美浜を良くしたい」という思いの表れであり、住民の思いを届けることは議員活動の基本であります。一般質問のページなども是非お読みいただき、ご感想などお寄せくださるようお願いいたします。 U・E